

岡部定一郎「福岡城寸描」(31)

黒田24騎小傳(4)

黒田 利則 (修理亮)

生没年 : 永禄6年(1561)~慶長17年(1612)

位置付 : 親族一門(八虎の一人)

禄 高 : 1万2千石

黒田職隆の3男で、黒田官兵衛孝高(後の如水)の異母弟にあたる。母親は神吉氏。

幼名は甚吉、のちに修理と名乗り、剃髪後は養心と号した。妻は、間嶋家より娶る。

兄の利孝と同じく、当初は、羽柴秀吉に仕えていたが、後に兄官兵衛に仕えた。

豊臣秀吉の朝鮮遠征、文禄・慶長の役では、官兵衛の子、長政に従って戦い、関ヶ原の戦いの時は、官兵衛に従って、九州関ヶ原と言われる各方面の戦いに貢献した。

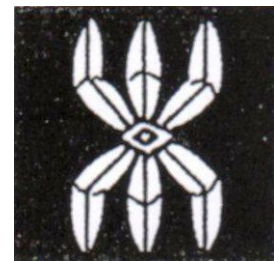
筑前入国の時には、52万石の国主となる長政の名代として、名島城を受け取りに行っている。

那珂郡市ノ瀬(今の那珂川町)に屋敷があり、新領地の領民の動静をよく把握した人物である。



黒田利高の博多人形(ふくおかフィナンシャルグループ1階に展示)

家紋



三木傘